

はっぽう

議会だより

観測史上最も早い開花！
(御所の台:ふれあいパーク)



3月
定例会

- 新年度事業…………… 2ページ
- 3月定例会ダイジェスト…………… 3ページ
- 予算委員会質疑・付帯意見…………… 8ページ
- 町政を質す(一般質問要旨)…………… 10ページ
- 一般質問…………… 11ページ
- 臨時会・お知らせ…………… 17ページ
- ハタハタ館の改修について…………… 18ページ
- 四方八峰・編集後記…………… 20ページ

四方八峰

(町を元気にする団体紹介シリーズ)No.9

ニコニコ会

代表
武田 龍子

お話：武田ヒデさん

峰浜地区畑谷第一・第二老人クラブでは、クラブ活動とは別に、女性部と一緒に老人クラブから独立した「ニコニコ会」という組織を立ち上げ、地域支え合い活動を行っています。平成22年発足時から一昨年(令和元年度)まで会長を務めた、武田ヒデさんに伺いました。

Q. 会をつくり友愛活動を始めたいきさつは
A. 畑谷地区内でも認知症や精神障害の方々を目のあたりにし、どうしても地域住民の理解が必要とされていたからです。また、高齢者の心と体の健康づくりについて、老人クラブでも自分達の問題としてサロン活動について考え、70歳以上の一人暮らしや日中一人で過ごしている高齢者、老夫婦世帯など対象とし、地区の民生委員、自治会、クラブ役員や社協などに協力をお願いし、地区の公民館を借りて始めました。

Q. 具体的にどんな活動をされていますか
A. 毎月第二、第四日曜日を定例日とし、クラブ会長、女性委員が中心となり16名で交流を深め活動しております。
会費は一人、月200円でお茶・お菓子代として集め、始めにお口の体操、歌、軽体操、ゲーム、制作活動など、ゆっくり心を開いて楽しんでおり、時間は午後1:30~3:30まで2時

間位をメドにしております。
また、お正月、花見会、お盆、敬老の日、クリスマスには1,000円を集め、ちょっと贅沢に弁当や寿司を取り寄せ、いつも以上に楽しんでおります。

町の「通所型サービスB事業」や社協の「ふれあいいきいきサロン助成事業」の補助金をいただき活動できることを、嬉しくありがたく思います。

Q. 活動の成果と、今後の抱負は
A. 会員同志が声をかけ合い誘いあって集まることで、嫌なことや悩みを語り合い心が安らぎ、一人一人が交流することの意義を認識し、積極的に参加するようになり集会を楽しみにしています。平成24年全国老連より活動賞を、また、県・町老連、社協とたくさんの賞をいただき、地域みんなのご協力の賜物と深く感謝しております。

地域の交流が益々大事になってきますので、これまで以上に頑張っていきたいと思います。

この様に熱く語ってくれました。今後ますます高齢化が進んでいきます。地域が支え合い、安心安全な居場所づくりが求められると感じました。これからも他の模範となるよう期待します。(取材 腰山)

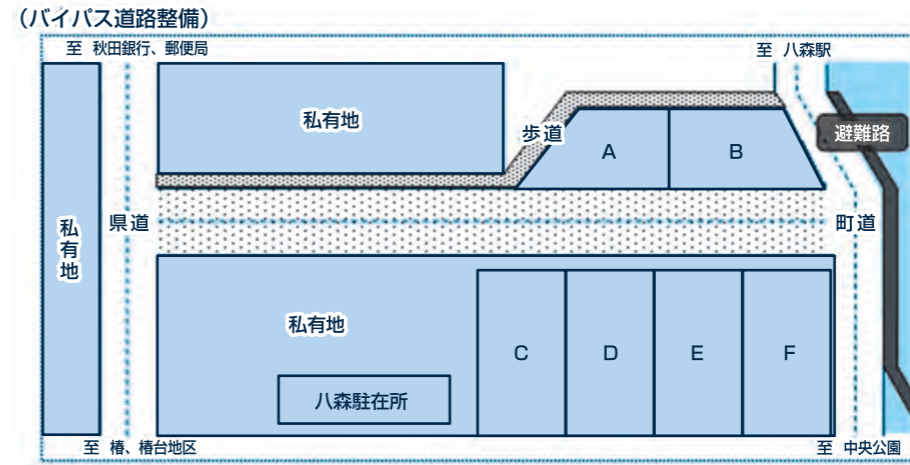


編集後記

今冬は度重なる暴風や低温により、停電や水道管・ボイラーの凍結など、近年にないほどの厳しい寒波に見舞われた。しかし、3月に入ってからの高温により、桜の開花予想は観測史上最も早く、この「議会だより」が皆様のお手元に届く頃には、葉桜となっているであろう。
梨の花は、桜の花が散る頃に開花を迎える。例年はGW中に開花するが、今年はGW中過ぎになりそうと、梨農家にとっては気の抜けない作業が続く。
英国の詩人、シェリーの詩の一節に「冬来たりなば春遠からじ」とある。冬を「コロナ禍」と置き換えると、耐え忍んだ後には必ず明るい日常がやって来る。そう思わずにはいられない。
(記 笠原 吉範)

- 議会広報編集委員会
- | | |
|------|------|
| 委員長 | 皆川 鉄 |
| 副委員長 | 笠原 吉 |
| 委員 | 山本 良 |
| 委員 | 山本 悦 |
| 委員 | 腰山 良 |
| 委員 | 山本 悦 |

人口減少の急速な進行を抑制し、
若い大人を増やす



中浜地区中心部整備事業（今年度はバイパス道路を整備）

予算の重点方針（要旨）

★岩館地区防災コミュニティセンター建設事業

- ・エリア整備として老朽化が進んだ岩館体育館の除却工事
- ・防災コミュニティセンター建設のための設計を実施

★中浜地区中心部整備事業

- ・旧八森庁舎跡地の新設道路測量設計に着手

★地域公共交通対策事業（継続事業）

- ・バス乗車券類購入支援事業
- ・交通空白地有償運送事業
- ・町内巡回バスの試行運転を実施

★水産業の振興

- ・機械器具等導入に対する助成
- ・サーモン試験養殖支援事業
- ・ギバサの養殖実証実験調査
- ・種苗放流及び栽培漁業定着強化事業

3月 定例会 ダイジェスト

3月定例会は3月4日（木）から19日（金）の16日間の日程で開催し、令和3年度当初予算や人事案件等追加を含め40議案が上程されました。そのほか、陳情5件を審議しました。

一般質問では、6人が登壇し、町政を質しました。

〔一般会計予算修正案〕

提出者 須藤正人 笠原吉範
中浜地区中心部整備事業関連予算2千万円を削り、予算額59億5千万円とするもの。

〔修正案提出の理由〕

議会全員協議会等でさらなる協議を行うべきと判断して提出したものです。

反対討論（修正案に反対）

奈良 当初予算に計上する前に議会と意見交換すべきとの意見はもつともであるが、議会側からも積極的にその場を求めべきだったのでは。
また、なぜ中浜だけが駄目なのかという声の中浜地区住民から上がっている。ほかの施策との整合がとれず、論理矛盾が生ずる。

山本 遊休地を利活用するには譲渡貸付を進めるべき。

旧八森庁舎跡地は最良の条件の土地である。中浜地区の住民からも分譲の要望があり、前町長の時にも分譲の話をしている。

地域の活性化は住民との付き合いが非常に大切。若者世帯が住み、子ども等がいれば高齢者との交流ができる。

賛成討論（修正案に賛成）

笠原 行政報告のみでこの事業を説明したとして予算を計上するやり方は議会軽視と言われても仕方ない。一度、差し戻して議論をした上で再

令和3年度 一般会計予算修正案 （→詳しくは17ページ） を否決し原案可決



修正案は5対6の僅差で否決された

提案をするべき。この手法を許したら、これからも当局の思惑だけで事業が進んでいくことになる。

菊地 この事業には賛成であるが、議会に対する姿勢が納得いかない。

今は動議のとおり修正し、議会との協議を経て補正予算に計上すべき。

芦崎 若者を増やすには中浜地区だけでなく例えば旧峰浜庁舎跡地とか他にも適地があるのではないか。

(旧八森庁舎跡地) はハザードマップをみても危険な場所であり、町が(そこに住むように) 誘導するということがひっかかる。

令和3年度一般会計予算

予算総額 59億7千万円

反対討論 (予算全体)

見上 税金を滞納した場合、10年前まで遡って支払う仕組みになっている。滞納者の支払計画は5年以降は不納欠

選挙案件

三種・八峰養護老人ホーム組合
議会議員



議会選出

●笠原吉範氏

人事案件

八峰町教育長の任命

●川尻茂樹氏 (水沢・再任)



無記名投票の結果
賛成11人
反対0人の
全会一致で同意

八峰町教育委員会委員の任命

●秋田武英氏 (八森2・新任)



無記名投票の結果
賛成11人
反対0人の
全会一致で同意

八峰町固定資産評価審査委員会委員の
選任

●佐藤孝之氏
(茂浦・再任)



●芹田 薫氏
(岩子・新任)



●小林孝一氏
(椿台・新任)



※全て簡易表決で同意しました

損(*)で処理しないと、いつまでたっても貧困から立ち上がれない。
チャレンジデーを全市町村が一斉に行っているのは秋田県だけである。地域競争を促すスポーツは健全ではない。

〔用語説明〕

不納欠損(*) 未収になっている町の債権(町税や公課など)のうち、徴収の見通しが立たない(例 財産がない場合や生活困窮者、居所不明者)などの理由で未収金から除くこと。

賛成討論 (予算全体)

皆川 新型コロナウイルス感染症への対応、町民の生命、生活、雇用、事業を守り抜くために必要最小限の予算である。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた産業振興や定住・移住対策等まんべんなく配置されており、おおむね良好な予算編成だと理解している。

陳情

採択された陳情

●安心・安全の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情

(提出者 秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 石川洋基)

付託中の総務民生常任委員会の意見
水木 新型コロナウイルス感染症対策の教訓を経て、新たなウイルスの感染や自然災害に対応し、経済への影響を抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公共衛生の施策の拡充は必要であることから全会一致で採択すべきとした。

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣に意見書を提出

●75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国へ意見書提出の陳情

(提出者 秋田県社会保障推進協議会
会長 佐藤幸美)

付託中の総務民生常任委員会の意見

皆川 医療費が高んで財政が持たない。安心して高齢者の皆さんから医療・治療を受けてもらうには裏付けとなる財政がしっかりしていなければならぬ。負担能力に応じた負担をいただくのは当然。

賛成討論

見上 人数が多いことを理由に負担を強いられるのはおかしい。国の財政の中で削る所はいっぱいあると思う。

(窓口負担2割該当が)200万円の収入ということは、公務員よりちょっと少ない年金に当てはまり、大抵の人が該当する。病院への行き渋りなどで医療費がますます増大する可能性がある。

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

●「新型コロナウイルス対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情

(提出者 秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤幸美)

付託中の総務民生常任委員会の意見

水木 高齢化の進展により今後更に高まる介護需要や、感染症のような新たな事態に対応していくためにも、安心できる介護保険制度への抜本的な改善が必要であることから全会一致で採択すべきとした。

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

●「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想について見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情

(提出者 秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤幸美)

付託中の総務民生常任委員会の意見

水木 地域医療構想を新型コロナウイルス感染症や今後の新型インフルエンザ感染症対策などを考慮し、抜本的に見直すことが必要であり、全会一致で採択すべきとした。

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

●最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 (秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基・秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦)

反対討論

山本 時給1500円を目指すことが描かれている。1日当たり8時間働けば1万2千円、25日働けば30万円になる。これはアルバイトも該当し、町内でこのようなことができる企業はない。こういうことを記載している陳情を八峰町議会として採択するわけにはいかない。

賛成討論

見上 今、コロナ禍でこの低賃金の生活で大変だという声がよく聞かれて若者が苦しんでいる。

まず全国一律で時給を1500円にするのが大きな意味があると思う。秋田県においても時給1500円になれば安心した生活ができ、都会に住んでいる人が流れてくるのが考えられる。最低賃金の引き上げは経営者負担になるため、これに並行して中小企業への支援を拡充していくことを国に求めるという内容であるため賛成である。

賛否が分かれた議案等の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案等を掲載しています。

	水木 壽保	山本 優人	奈良 聡子	腰山 良悦	須藤 正人	芹田 正嗣	見上 政子	菊地 薫	笠原 吉範	芦崎 達美	皆川 鉄也	門脇 直樹	議決結果
八峰町農林漁業体験交流施設条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町ハタハタ館条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和3年度八峰町一般会計予算 修正案	●	●	●	○	○	●	●	○	○	○	●		否決
令和3年度八峰町一般会計予算 原案	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和3年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和3年度介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和3年度八峰町沢目財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国への意見書提出の陳情	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●		採択
「新型コロナウイルス対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●		不採択
「75歳以上医療費 窓口負担 2割化の中止を求める」意見書の提出について	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●		可決

質疑

(特別委員会)

新年度予算審査

ここが聞きたい!

令和3年度の一般会計及び各種特別会計において各分科会で審査し、町政全般にわたり数多くの質問が出ました。抜粋してお知らせします。

問 サーモン養殖試験の事業内容を詳しく。

答 実施主体は岩館の増養殖組合、代表者は加賀谷弘さん。今回は試験養殖なので生け簀は岩館本港内に設置予定。深浦の日本サーモンファームより技術指導をいただき、稚魚や餌についても日本サーモンファームから購入予定。

再質問 中間育成はどのよう

答 日本サーモンファームにて、中間育成した稚魚を買い上げ、生け簀へ放流する。

言えず、この点を考慮し半分の50万円とした。

問 巡回バスの試行運転の進捗状況は。

答 試行運転期間を6カ月と想定しているが、バス事業者等との意見交換で9カ月としてはどうかという意見も出ているので、追加補正をお願いするようになると思う。

再質問 いつ頃ま

を出すのか。何カ月スパンが適当なのか判断は難しいと思うが、例えば3カ月たっ

再質問 サーモン養殖の生け簀のサイズはどのくらいか。

答 試験養殖では10メートル×10メートルの小規模のものを予定。

問 道の駅移転はいつ頃か。

答 早くて令和5年度中。国や県と協議しながら実施することになるので、通常よりも時間がかかると思っ

問 道の駅検討委員会は、ハタ館の運営もセットで考えなければならぬ。

たらルートを変えるなどし、利用者の意見を聞きながら進めていくのも一つの方法ではないか。細かいところは本格運行になってからでも見直して対応すればいい。

答 令和3年度試行運行は今年

度の実施内容やアンケートを踏まえ一部を変えて実施していく。利用状況や利用者の意見を聞いて10月からさらに見直したルートで実施していきたい。町の都合だけでなくバス会社の都合もあるので、協議しながら進めていく。

答 十分考慮して行う。

問 住まいづくり応援事業の新築支援として、町外業者が施工した場合に限度額50万円を補助するとして根拠は何か。

答 この支援事業は、町内の建築事業者における経済の活性化と定住・移住の促進を図ることを目的としている。当初は限度額100万円

で検討したが、町内業者と大手ハウスメーカーとの資金力の差は歴然としており、町内業者にとって100万円では有利とは

現在、岩館線と大久保岱線で半額助成の回数券を利用している方、106名を対象にアンケートしている

予算に対しての議員からの意見

令和3年一般会計及び特別会計当初予算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、3月19日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。その付帯意見を紹介します。なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

意見1

新型コロナウイルスワクチン接種について

コロナ禍における新型コロナウイルスワクチン接種については、国の動向を注視し他市町村や関係機関とも連携し、全庁体制で対応にあたること。

意見2

道の駅移設に伴う御所の台エリアの検討について

御所の台エリアへの道の駅移転計画に伴い、ハタハタ館、体験センター、ぶりこ等との連携による集客を図る必要があることから、施設整備・管理運営など多角的に検討すること。

意見3

増養殖事業の推進・取組みに際し、漁業者が主体的に進めるよう指導を行うこと

増養殖事業等の取組みは、漁業・漁村の再生を目指す漁業者の意志であることに鑑み、漁業者が自ら積極的に進めるよう指導・支援を行うこと。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

6人の議員が一般質問

一般質問では6名の議員が町政について質問しました。

p11 笠原 吉範 議員

- 1 共同食品加工場の整備について
- 2 中浜地区中心部整備事業について

p12 山本 優人 議員

- 1 高齢化の現状と対応について
- 2 地域おこし企業人について

p13 須藤 正人 議員

- 1 津波防災の考え方

p14 見上 政子 議員

- 1 若者生活支援について
- 2 ジェンダー平等の町
- 3 災害に強い町づくり

p15 奈良 聡子 議員

- 1 洋上風力発電について
- 2 防災と災害時の対応について

p16 腰山 良悦 議員

- 1 危険な空き家対策について

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。

質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしています。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。



笠原 吉範 議員

共同食品加工場の整備を

町長 需要や仕組みを検討

笠原

食品衛生法の改正で、漬物製造業が本年6月から許可制となり、県

条例で定める基準に合致した加工場を整備しなければならなくなる。現在漬物を販売して

いる方で加工場を整備している人は少なく、販売を続けられない方が多いようだ。

共同食品加工場を整備することにより、漬物だけでなく様々な加工食品の試作や販売が



加工食品陳列棚（おらほの館）

可能となり、利用者の所得向上や特産品の開発につながるのでは。

町長

共同加工場の整備は、利用者の所得向上や特産品の開発などメリットがあると考える。誰がどのように利用できるかと、生産者の意向

を確認し、他市町村の加工場を視察するなど、需要や仕組みについて検討する。

中浜地区中心部整備事業、議論必要

町長 報告をした上で

予算提案した

笠原

昨年2月の議会において提案された同事業だが、防災面の懸念から宅地化に反対する声があったことから、一旦棚上げされ町内若者を対象にアンケート調査が実施された。その結果57・1%の若者が「住みたくな

ようなタイミングや頻度で議会に説明してきただがよく分からないのが正直なところだ。私の場合は、前職である県庁時代の経験がベースとなっており、それよりは丁寧に対応してきた。

「と回答したにもかかわらず、昨年12月定例会の行政報告だけで議論することなく新年度予算に計上する手法は、極めて乱暴で容認できるものではない。

町長

私も含めて現在の三役が、これまでの町当局

町として津波リスクへの備えに十分配慮しながら、一定の規模があり、子育て環境に恵まれ、定住移住につながりやすい旧八森庁舎跡地の有効活用、若い大人を増やす取り組み、中浜地区の活性化などの観点から本事業を実施したい考えを報告した上で予算提案した。



山本 優人 議員

高齢者の孤立と

認知症対策は

町長 「我が事」として
取り組む

山本 高齢化により近所付き合いがなくなり、盆正月を一人で過ごす高齢者世帯も増えている。高齢者を社会からいかに孤立させずに支援していくかが社会的な課題だ。住み慣れた地域

町長 八峰町の高齢化率は、昨年7月1日現在48.4%、「一人暮らし世帯の割合」は、36.2%であり、認知症患者数540人と推定される。福祉事業は、社会福祉協議会と連携した地域福祉計画に基づき進め、定期的に集まるような所を全自治会につくり、心と体の健康づくり、介護予防教室や健康教室等を町が積極的に開催していくことは高齢化対策として必要なこと。

町長 必要になれば活用する
ハタハタ館の中間決算では収支改善が図られているとの報告があったが、コロナ対策支援による一時的なものであり、赤字になったら町から補填や支援を受けるという甘い考えのため危機感が鈍化してきた結果である。

「道の駅」 第三者の知見必要

活用する

山本 今後、道の駅の指定変更に伴う環境整備やハタハタ館等の改修計画に際し、宿泊・観光事業に関わっている企業のアドバイスを受け、ハタハタ館及び周辺観光の整備を図るために第三者たる「地域おこし企業人」(*)の意見・知恵が必要だ。

町長

ハタハタ館を中心とした御所の台エリアは、「あきた白神体験センター」、「産直ぶりこ」、「御所の台ふれあいパーク」など多くの施設が集中している。来年度実施する「道の駅」はちもり移転に向けた懇談会については、単なる道の駅の移転ではなく、最終的にはこのエリア全体の整備内容をどうするのかまで踏み込み、専門的な知見が必要になれば、「地域おこし企業人」の活用も図りたい。



御所の台エリア

【用語説明】「地域おこし企業人」(*)
地域活性化の課題に対し、ノウハウや知見をもった民間企業の人材をあてること。

施設も含めた

津波対策は

町長 避難路の整備と
訓練により対応

須藤 旧八森庁舎跡地に中浜地区中心部整備事業が計画されたが、秋田県のハザードマップから見ても津波災害のリスクが高い場所である。にも拘らず、若者の移住促進について、中浜地域は昔から多く

議会と議論を深めるべきとの判断からこの整備事業については反対をした。

特別養護老人ホーム「海光苑」は夜中に津波が発生した場合、日本の津波到来は非常に早く、バスの運転手がすぐ手配できるか等、避難対策に多くの課題があるがその対応は。

町長

先般「八峰町防災ハザードマップ」で示した

とおり、日常生活を脅かす災害や津波、土砂災害等、特に八森地域は災害リスクの高い地域だが、長い間ここで生活してきた歴史があり、現在も多くの方々が暮らしている。その地域はもとより八峰町の活性化につながる事業であれば、避難路の整備や避難訓練を実施し、津波災害などに十分配慮しながら実施していきたい。本事業は、極端な少子化に真正面から立ち向かうこれま



旧八森庁舎跡地

でない事業であり、若い大人を増やすことなどを目的としたものであり是非取り組ませてほしい。土地の無償提供は「住まいづくり応援事業」(*)の併用が考えられるが、町有財産の公平公正の原則

を考慮し、補助金額を半額にすることで、坪当たり一万円で購入してもらおうことになる。海光苑の津波対策は海岸に近く、時間的余裕の無い中で、車いす利用者や高齢入所者を迅速に避難させるのは

【用語説明】「住まいづくり応援事業」(*)
子育て世帯・支え合い世帯を対象に新築支援として200万円を補助。

非常に困難である。的確な情報提供や日頃の避難訓練など有事の際、落ち着いて安全に避難できるよう施設と連携し被害防止に努める。



須藤 正人 議員



見上 政子 議員

若者に経済支援を

町長 今ある施策の活用を

見上 子育て世代の国保税を軽減するため、本町においても乳幼児から高校生までの均等割りの廃止を考えないか。又、社会に出る若者が就職準備する為の就職支度金貸付制度など考えられないか。

町長 国保税については国民健康保険法及び地方税

法の規定により、法律的には所得割と均等割は必須条項で均等割の廃止はできない。提案の就職支度金貸付制度は、就職、就労時の資格取得への支援や若者層を応援する「若者世代生活支援プレミアム50商品券交付事業」も引き続き実施するの積極的な活用をお願したい。

ジェンダー（*） 平等の町へ

町長 数値目標を掲げ実施

見上 女性が委員会や審議会で見解を述べ政策に関わっていくべきであり、女性の委員を3割確保する指導は。また、障がい者雇用対策については法に基づき地方自治体に2・6%の雇用を求めているが本町の取り組みは。

町長 男女共同参画に関する

避難訓練の充実を

町長 自主防災組織と町の合同訓練実施

見上 災害に強いまちづくり対策として、避難路はあるものの有事の際に

有効に機能するのか。夜間対策として街路灯の設置は。レッドゾーンへの対応など形だけ

の避難訓練ではなく、その時々に合わせて住民が納得できる訓練が必要。

町長 避難路は有事の際重要な道路であり、地域住民が安全に避難出来るよう平常時からの点検と維持管理に努め、自主防災組織と町による合同訓練や地域住民参加型の訓練を実施する。また、普段生活している地域にどんな危険な箇所があるか認識し、

【用語説明】「ジェンダー（*）」
生物学的な性別に対して、社会的意味あいから見た男女の性別

どこに避難するかなど複雑多様化する災害に備えたい。



高台への避難訓練



準備したプライバシー保護テント

洋上風力

町民意識調査を

町長 法定協で意見調整中 必要ない

奈良 八峰・能代沖で計画されている洋上風力発電事業について、よく知らない住民がほとんどだ。情報を積極的に発信してこなかった町の責任は大きい。町長の考えやメッセージを広

報で発信する考えは。又、洋上風力については町民意識調査をしてはどうか。法定協議会で漁業への影響に対する懸念が払拭されない場合の対応は。



奈良 聡子 議員

町長 取り入れて マニュアル改定進める

避難所運営に 女性の視点は

町長 基本的な考え方は「議会だより」によって発信されているので、町の広報で発信する必要はない。また法定協議会で「促進区域」指定に向けて意見を取りまとめているところであ

り、町民意識調査は必要ない。ハタハタは特別な魚で漁業関係者にとつて一番の問題。協議会で取りまとめた内容に合意しない委員がいれば、「促進区域」の指定を行えないと理解している。

奈良 1月に町内全域で停電

が、2月には福島県沖を震源地とする地震が、いずれも夜間に発生した。夜間の災害を想定した全町規模の避難訓練が必要。

また、避難所でのセクハラやプライバシー確保の問題が報じられているが、最新の避難所運営マニュアルに女

性の視点は生かされているか。防災メールの登録システムやSNSのアカウント開設も検討すべき。

町長 夜間を想定した避難訓練の必要性は理解できるが、高齢者等の安全確保が大きな問題。全町規模での訓練はリスクが高く実施は困難。

これまで同様、地域ごとの訓練が望ましい。避難所運営については今後検討していく。設定やプライバシー保護テントの設置など、安全・安心な運営に努め、運営組織の責任者に男女両方が参画するなど、女性の視点を取り入れながら「避難所開設・運営マニュアル」の改訂を進める。防災

今後の課題として、防災対応の核となるメンバーに女性職員を配置することも是非検討してほしい。



腰山 良悦 議員

行政代執行の 基本的な考えは

町長 慎重に対応する 必要がある

腰山 高齢化や核
家族化、少
子化などにより、地域
の防災、治安に支障を
来し、危険な空き家が
年々増えている。
最近、調査された実
態と、その結果に基づ
く対策計画は。

また、行政代執行に
ついての基本的な考え
と除却以外の応急処置
に対する支援は。

町長 空き家等と
思われる住
宅や小屋などは、八森
地区で308棟、峰浜

地区で208棟の合計
516棟となっており、
そのうち、倒壊等の恐
れがある空き家等は30
棟あり、24棟が八森地
区、6棟が峰浜地区と
なっている。現状のま
までは将来的に増える
ことが予想される。
今年度、「空家等対
策計画」を策定し、「発
生抑制」、「老朽化し
た空き家の自主的な除
却」、「管理不全な空
き家への対策」などの
施策を取りまとめ、計
画に基づき取り
組んでいく。

行政代執行について
は、安易に「代執行」
まで進めると、空き家
等の管理は所有者が行
うという大前提が崩れ、
撤去費用を徴収できな
いことも想定されるの
で、慎重に対応してい
く必要がある。

「強風などで危険な
状態となっている」と
周辺住民から問い合わせ
が寄せられた空き家
等については、所有者
に補修をお願いしてい

る。すぐに対応できず、
所有者の承諾を得た場
合は、八峰消防署の協
力で応急仮補修を行っ
ている。

腰山 屋根や外壁
などの部分
的な補修について、所
有者にも少し積極的
に働き掛け、助成も考
える必要があるのでは

町長 あくまで管
理は所有者
が行うのが大原則。「黙
っていけばいつか町が
やってくれる」と思わ
れてはいけません。

1月20日

臨時会

大学生等に5万円追加支給を可決

補正内容

新型コロナウイルス感
染症が長引いていること
により、アルバイト先が
なく苦しい生活を強いら
れている大学生や専門学
生等に5万円追加支給す
るもの。

主な質疑

問 (議員から町へ)
「大学生等」とあるが、
支援対象に県内や県外で

答 下宿等をしている高校生
は含まれるのか。

答 対象にならない。

問 条件的に大学生と
ほとんど変わらないので

答 前回、高校生は1
人2万円という支援があ
ったため、高校生を除い
た形で要綱を作成した。

問 今回は、前回支給した事
業をもう一度やるという
形であるため該当になら
なかった。

問 今回の補正額37
0万円の詳しい説明がほ
しい。

答 前回の交付者は1
22件、137名分、6
85万円交付している。
1人5万円。

問 こういう人たちは
下宿をしてお金がか
かるし、実家にも帰られ
ない。町からの温かい支
援を考えていただきたい。

答 この後、盛り込む
よう調整したい。

当初予算が1000万
円、対して現在残額金3
15万円。これに今回3
70万円をを補正し対応
したい。
(全会一致で可決)

修正動議とは？

町当局から提出された議案に対し、議員が必要に応じて修正議案を提出すること。

●今回提出された修正案

令和3年度一般会計予算中
の中浜地区中心部整備事業費
2,000万円を削除する。

●可決までの経過

2月26日
町長から議会に議案を提出

3月4日
議案が上程され予算特別委
員会に付託。

3月8日～15日
予算委員会で審査

3月17日
一般質問で質問

3月17日
一般質問後、修正案を提出

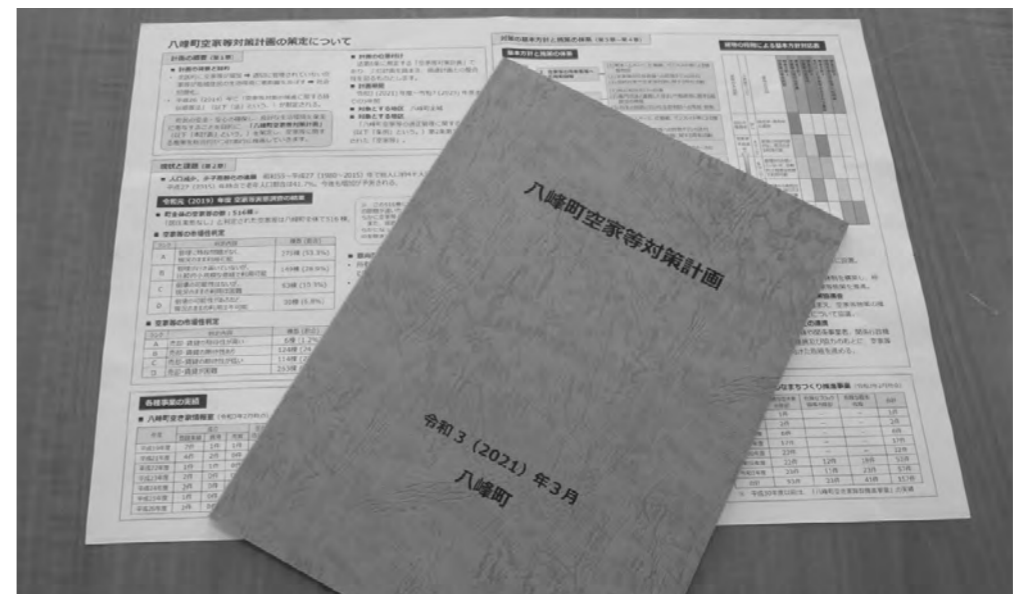
3月19日
修正案 否決
原案 可決

今月の表紙

御所の台ふれあいパーク



厳しい寒さに見舞われた冬から一変、
観測史上最速の開花となりました。



令和3年3月策定の「八峰町空家等対策計画」

八夕八夕館の大規模改修について

当町では、1月20日（水）、2月5日（金）及び2月25日（木）に議会全員協議会が開催され、その中で、八夕八夕館の大規模改修についてお知らせします。

町から岩館地区防災コミュニティセンター整備事業や令和3年度の新規事業等の説明がありました。

1 八夕八夕館に 対する町の基 本的な考え方

八夕八夕館は町の観光振興の大きな拠点であり、知名度的にも「八峰町」といえば八夕八夕館」と言われている。町として守っていかねければならない施設である。

2 八夕八夕館の 設備状況

○八夕八夕館は平成5年に新設されすでに27年が経過。
（平成19年に温泉棟の新設と本館3階の浴室を宿泊室に改装）
○ここ数年、施設全体において設備等の故障が発生
（空調、給排水、内装外装、照明、消防設備機械など全般にわたる経年劣化の目立ち、修繕費も増加）

3 令和3年度予算 における設備改 修について

○八夕八夕館の老朽化に伴い設備改修が必要なもののうち、特に今後の営業継続に不可欠な「空調設備」と「合併浄化槽」を改修したい。

◆空調設備改修

363.5万円

天井設置の空調設備で冷房時に水漏れが発生。25年以上経過し部分修理が不可能のためファンコイルユニット42台を更新

◆合併浄化槽改修

386.5万円

浄化槽の外側面が崩壊し、土砂の流入により雑排水の浄化機能が低下。浄化槽を新設し、既存設備からのつなぎ替えを実施。

◆その他

今後、非常用照明、エレベーター、防火シャッター1、浴室排煙オペレーター1、浴室内装材、温泉棟屋根防水、温泉棟外壁塗装、2階交流広間の床などの改修が必要となる。

至急改修が必要な合併浄化槽



議員から町へ （質疑）

一部抜粋

問 改修はやむを得ないと思う。

答 ただ、町が入札する公共工事になると、民間発注より高くなる（1・7倍）。八夕八夕館が自ら入札すれば工事費も下がることになり、町がそれを補助してはどうか。

答 ハタハタ館への工事費補助については、財源の問題がある。町が発注すると過疎債（*）を利用できるが、補助だと利用できない。また、今は町の施設なので補助する場合、施設の譲渡が必要となるかもしれない。財政上の問題については、企画財政課と相談し協議する。

問 経営努力しないと駄目

今の経営状況だと町だから援助できるのであつて銀行では融資してくれない。ハードのみが良くて、ソフトも良くならないといけない。

答 これまで料理長と館長がそれぞれ仕入れを行っていたが、館長に一本化し、漁協にも足を運びいいものを仕入れするようにしている。

経営についてはご指摘のとおりなので赤字を減らし次につなげていきたい。

問 道の駅の話もあり、実現すればかなりの波及効果がある。今のままの施設で良いのか。

さらに改修が必要となることも想定され、道の駅実現以降大改修が必要となるのでは。

答 今回は営業を継続していくための改修。全体をどうするかは、道の駅に関する協議する予算を来年度に計上する。民間の活力を入れていくことも必要であり、ある程度きちんとした形を見せなければ大きな改修はできない。

問 今回の改修は仕方ないが、今後の改修について具体的なものはあるのか。また、浄化槽は砂地でも良いのか。

答 改修についてはいきなりすべてを行うことは考えていない。我慢できるものは我慢する必要がある。浄化槽はコンクリート枠で囲っている。今回は枠が壊れたものであり、砂地であっても問題ない。

問 今回は最低限の改修ではあるが、八夕八夕館に投資をすることは町民も敏感になっている。運営を良い方向に持って行かないと道の駅になることを含め住民の理解は得られない。

答 メニューを減らし使われない食材を準備することをやめた。青森県にある施設が閉鎖されたことで、大型バスでのレストラン利用が増加した。

道の駅になった場合、「ぶりこ」と八夕八夕館の売店をどうするかといった問題も出てくる。レストランや売店のない施設はあり得ないし、利益が出るようにならないと難しい。

【用語説明】過疎債（*）
過疎地域の市町村が、計画に基づいて行う事業に特別に発行が認められた財源。